

 株式会社オリエンタルランド

2021年3月期
決算補足資料

■ 2021年3月期決算実績

1. 連結貸借対照表(実績/前期末)	…	1
2. 連結損益計算書(実績/前期)	…	3
3. 連結損益計算書(実績/2020年10月発表予想)	…	5

■ 投資額・償却費 … 7

■ 【参考】2021年3月期決算実績（四半期別）

4. 四半期連結損益計算書(第1四半期実績/前年同期)	…	9
5. 四半期連結損益計算書(第2四半期実績/前年同期)	…	11
6. 四半期連結損益計算書(第3四半期実績/前年同期)	…	13
7. 四半期連結損益計算書(第4四半期実績/前年同期)	…	15

1. 連結貸借対照表（実績／前期末）

科 目	前 期 末	構 成 比	当 期 末	構 成 比	増 減 (△ 印 減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
(資 産 の 部)							
I. 流 動 資 産							
現 金 及 び 預 金	261,164		197,317		△ 63,847		①
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	7,225		12,040		4,815		
有 価 証 券	19,999		33,495		13,495		②
た な 卸 資 産	20,088		21,531		1,442		
そ の 他	8,262		9,749		1,486		
流 動 資 産 合 計	316,741	31.3	274,134	26.3	△ 42,607	△ 13.5	
II. 固 定 資 産							
有 形 固 定 資 産							
建 物 及 び 構 築 物	291,012		315,411		24,398		
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	34,557		47,849		13,291		
土 地	117,653		115,890		△ 1,763		
建 設 仮 勘 定	152,165		165,344		13,179		
そ の 他	15,197		21,063		5,865		
有 形 固 定 資 産 合 計	610,586	60.4	665,557	64.0	54,971	9.0	
無 形 固 定 資 産							
そ の 他	16,334		17,111		777		
無 形 固 定 資 産 合 計	16,334	1.6	17,111	1.7	777	4.8	
投 資 其 他 の 資 産							
投 資 有 価 証 券	46,925		49,601		2,675		
長 期 前 払 費 用	1,489		1,110		△ 378		
そ の 他	18,574		32,949		14,375		③
投 資 其 他 の 資 産 合 計	66,989	6.7	83,662	8.0	16,672	24.9	
固 定 資 産 合 計	693,910	68.7	766,331	73.7	72,421	10.4	
資 産 合 計	1,010,651	100.0	1,040,465	100.0	29,814	2.9	A
(負 債 の 部)							
I. 流 動 負 債							
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	13,921		9,072		△ 4,849		
1 年 内 償 還 予 定 の 社 債	-		30,000		30,000		④
1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	4,580		3,859		△ 720		
未 払 法 人 税 等	7,991		9,023		1,031		
そ の 他	74,001		69,414		△ 4,586		⑤
流 動 負 債 合 計	100,495	9.9	121,370	11.7	20,874	20.8	
II. 固 定 負 債							
社 債	80,000		150,000		70,000		⑥
長 期 借 入 金	2,488		2,364		△ 123		
退 職 給 付 に 係 る 負 債	3,537		3,030		△ 506		
そ の 他	3,873		3,752		△ 120		
固 定 負 債 合 計	89,898	8.9	159,147	15.3	69,248	77.0	
負 債 合 計	190,394	18.8	280,517	27.0	90,122	47.3	B
(純 資 産 の 部)							
I. 株 主 資 本							
資 本 金	63,201	6.2	63,201	6.1	-		
資 本 剰 余 金	111,970	11.1	112,001	10.8	30		
利 益 剰 余 金	744,452	73.7	678,792	65.2	△ 65,660		⑦
自 己 株 式	△ 109,325	△ 10.8	△ 108,771	△ 10.5	553		
株 主 資 本 合 計	810,298	80.2	745,223	71.6	△ 65,075	△ 8.0	
II. その 他 の 包 括 利 益 累 計 額							
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	9,623	1.0	12,449	1.2	2,826		
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	74	0.0	137	0.0	63		
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	261	0.0	2,137	0.2	1,876		
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	9,958	1.0	14,724	1.4	4,766	47.9	
純 資 産 合 計	820,257	81.2	759,948	73.0	△ 60,308	△ 7.4	C
負 債 純 資 産 合 計	1,010,651	100.0	1,040,465	100.0	29,814	2.9	

【A. 資産の部 298億円の増（2.9%増）】

I. 流動資産 426億円の増

(1) 現金及び預金の減	△638億円 …①
(2) 有価証券の増	134億円 …②

II. 固定資産 724億円の増

(1) 設備投資による増	1,083億円
(2) 減価償却による減	△458億円
(3) 繰延税金資産の増	121億円 …③

【固定資産の増減額】

(単位：百万円)

項 目	金 額
設備の増減額	55,370
設備投資額	108,322
テーマパーク事業	77,795
ホテル事業	26,716
その他の事業	3,811
連結消去	-
減損、除却等	△ 7,052
減価償却費	△ 45,899
投資有価証券・その他の増減額	17,050
合 計	72,421

【B. 負債の部 901億円の増（47.3%増）】

I. 流動負債 208億円の増

(1) 1年内償還予定の社債の増	300億円 …④
(2) 未払金の減	△111億円 …⑤

II. 固定負債 692億円の増

(1) 社債の増	700億円 …⑥
----------	----------

【有利子負債内容別内訳】

(単位：百万円)

項 目	前 期 末	当 期 末	増 減
1年内償還予定の社債	-	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	4,580	3,859	△ 720
社債	80,000	150,000	70,000
長期借入金	2,488	2,364	△ 123
合 計	87,069	186,224	99,155

【C. 純資産の部 603億円の減（7.4%減）】

(1) 利益剰余金の減	△656億円 …⑦
・親会社株主に帰属する当期純利益の減	△541億円
・配当による減	△114億円

2. 連結損益計算書（実績／前期）

科 目	前 期 実 績	百 分 比	当 期 実 績	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	464,450	100.0	170,581	100.0	△ 293,869	△ 63.3	A
（ テーマパーク事業	384,031	82.7	134,293	78.7	△ 249,737	△ 65.0	①
ホ テ ル 事 業	64,375	13.9	28,627	16.8	△ 35,747	△ 55.5	②
そ の 他 の 事 業	16,043	3.4	7,660	4.5	△ 8,383	△ 52.3	③
売 上 原 価	300,601	64.7	169,678	99.5	△ 130,922	△ 43.6	
人 件 費	75,062		45,639		△ 29,422		
諸 経 費	194,177		92,112		△ 102,064		
減 価 償 却 費	31,361		31,926		564		
売 上 総 利 益	163,849	35.3	902	0.5	△ 162,946	△ 99.4	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	66,986	14.4	46,891	27.5	△ 20,094	△ 30.0	
人 件 費	25,240		18,720		△ 6,519		
諸 経 費	36,346		23,409		△ 12,936		
減 価 償 却 費	5,398		4,761		△ 637		
営 業 利 益	96,862	20.9	△ 45,989	△ 27.0	△ 142,852	-	B
（ テーマパーク事業	79,660	17.1	△ 41,982	△ 24.6	△ 121,643	-	④
ホ テ ル 事 業	14,769	3.2	△ 1,954	△ 1.1	△ 16,723	-	⑤
そ の 他 の 事 業	2,161	0.5	△ 2,312	△ 1.4	△ 4,474	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	271	0.1	260	0.1	△ 11	△ 4.2	
営 業 外 収 益	2,582	0.5	1,833	1.2	△ 749	△ 29.0	
営 業 外 費 用	1,382	0.3	5,049	3.0	3,666	265.2	
経 常 利 益	98,062	21.1	△ 49,205	△ 28.8	△ 147,268	-	
特 別 利 益							
投 資 有 価 証 券 売 却 益	341	0.1	-	-	△ 341	-	
特 別 利 益 合 計	341	0.1	-	-	△ 341	-	
特 別 損 失							
臨 時 休 園 に よ る 損 失	9,270	2.0	12,965	7.6	3,694	39.9	
減 損 損 失	-	-	5,633	3.3	5,633	-	
特 別 損 失 合 計	9,270	2.0	18,598	10.9	9,328	100.6	⑦
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	89,133	19.2	△ 67,804	△ 39.7	△ 156,938	-	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	25,048	5.4	479	0.4	△ 24,568	△ 98.1	
法 人 税 等 調 整 額	1,868	0.4	△ 14,092	△ 8.3	△ 15,960	-	
法 人 税 等 合 計	26,916	5.8	△ 13,613	△ 7.9	△ 40,529	-	
当 期 純 利 益	62,217	13.4	△ 54,190	△ 31.8	△ 116,408	-	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	62,217	13.4	△ 54,190	△ 31.8	△ 116,408	-	C

【A. 売上高 2,938億円の減 (63.3%減)】

(単位: 百万円)

項目	前期実績	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
① テーマパーク事業	384,031	134,293	△ 249,737	△ 65.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの臨時休園による減 ・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	179,965	66,938	△ 113,027	△ 62.8%	
商品販売収入	126,822	41,579	△ 85,243	△ 67.2%	
飲食販売収入	70,815	22,642	△ 48,172	△ 68.0%	
その他の収入	6,428	3,133	△ 3,294	△ 51.3%	
② ホテル事業	64,375	28,627	△ 35,747	△ 55.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの臨時休館による宿泊収入の減 ・客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	56,799	25,571	△ 31,228	△ 55.0%	
その他ホテル	7,575	3,056	△ 4,519	△ 59.7%	
③ その他の事業	16,043	7,660	△ 8,383	△ 52.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの臨時休園によるモノレール事業の減 ・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減 ・イクスピアリの臨時休業によるイクスピアリ事業の減
イクスピアリ事業	6,175	4,272	△ 1,903	△ 30.8%	
モノレール事業	4,767	1,019	△ 3,748	△ 78.6%	
その他	5,100	2,368	△ 2,731	△ 53.6%	

※1 ディズニーアンパサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【テーマパーク関連情報】

項目	前期実績	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
入園者数 (千人)	29,008	7,560	△ 21,449	△ 73.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休園による減 ・入園者数の制限による減
ゲスト1人当たり売上高 (円)	11,606	13,642	2,036	17.5%	
チケット収入	5,292	6,538	1,246	23.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・制限下における入園券種の限定による増 ・チケット価格改定による増
商品販売収入	3,877	4,122	245	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・営業再開後の需要増による一時的な増 ・新規エリア関連商品の増
飲食販売収入	2,437	2,982	545	22.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・制限下における喫食機会の増加による増 ・新規エリア関連商品の増

【B. 営業利益 1,428億円の減】

(単位: 百万円)

項目	前期実績	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
④ テーマパーク事業	79,660	△ 41,982	△ 121,643	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△196億円) ※2 ※3 ・人件費の減 (302億円) <ul style="list-style-type: none"> - 特別損失への振替 (71億円) - 雇用調整助成金の受給による減 (72億円) ※3 - 準社員人件費の減 (87億円) - 正社員人件費の減 (45億円) - その他 (27億円) ・諸経費の減 (254億円) <ul style="list-style-type: none"> - 特別損失への振替 (21億円) - 販売促進費の減 (45億円) - メンテナンス費の減 (44億円) - スペシャルイベント関連費用の減 (41億円) - エンターテインメント関連費用の減 (23億円) - その他 (80億円) ・減価償却費の増 (△3億円) <ul style="list-style-type: none"> - 特別損失への振替 (45億円) - 新規取得資産の増など (△48億円)
⑤ ホテル事業	14,769	△ 1,954	△ 16,723	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・人件費の減 (46億円) ※3 <ul style="list-style-type: none"> - 特別損失への振替、賞与の減など ・諸経費の減 <ul style="list-style-type: none"> - 休館期間中の費用の減、特別損失への振替など ・減価償却費の減 (8億円) <ul style="list-style-type: none"> - 特別損失への振替など
⑥ その他の事業	2,161	△ 2,312	△ 4,474	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・諸経費の減など

※2 第1四半期 (4~6月) の商品・飲食原価率の増影響は臨時休園をしていたことにより算出不可であることから、P.10の第1四半期営業利益の主な増減要因には記載しておりません。

※3 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額 (見込み受給金額を含む) を営業費用から控除しています。

【C. 親会社株主に帰属する当期純利益 1,164億円の減】

(単位: 百万円)

項目	前期実績	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
⑦ 特別損失の増					
テーマパーク事業	9,270	11,802	2,532	27.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費の振替 (△21億円) ※4 <ul style="list-style-type: none"> - 前期の休園期間中の一部の人件費 (△29億円) - 当期の休園期間中の一部の人件費 (8億円) ・諸経費の振替 (21億円) <ul style="list-style-type: none"> - 前期の休園期間中の業務委託費・固定資産税など (△8億円) - 当期の休園期間中の業務委託費・固定資産税など (30億円) ・減価償却費の振替 (45億円) <ul style="list-style-type: none"> - 前期の休園期間中の減価償却費 (△26億円) - 当期の休園期間中の減価償却費 (72億円) ・飲食売上原価の増 ※4、商品・原材料の廃棄など (△19億円) <ul style="list-style-type: none"> - 前期の飲食売上原価の増 ※4、商品・原材料の廃棄など (△26億円) - 当期の飲食売上原価の増 ※4、商品・原材料の廃棄など (6億円)
ホテル事業	-	6,532	6,532	-	<ul style="list-style-type: none"> ・減損損失の発生 (56億円) ・人件費の振替 (△2億円) ※4 <ul style="list-style-type: none"> - 休館期間中の一部の人件費 ・諸経費の振替 (3億円) <ul style="list-style-type: none"> - 休館期間中の固定資産税など ・減価償却費の振替 (7億円) <ul style="list-style-type: none"> - 休館期間中の減価償却費
その他の事業	-	264	264	-	<ul style="list-style-type: none"> ・減価償却費の振替 (1億円) <ul style="list-style-type: none"> - イクスピアリ事業の休業期間中の減価償却費など

※4 各事業における人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確定と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

3. 連結損益計算書（実績／2020年10月発表予想）

科 目	10月発表予想	百 分 比	当 期 実 績	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	185,460	100.0	170,581	100.0	△ 14,878	△ 8.0	A
（ テーマパーク事業	152,440	82.2	134,293	78.7	△ 18,146	△ 11.9	①
ホ テ ル 事 業	25,130	13.5	28,627	16.8	3,497	13.9	②
そ の 他 の 事 業	7,890	4.3	7,660	4.5	△ 229	△ 2.9	③
売 上 原 価	188,510	101.6	169,678	99.5	△ 18,831	△ 10.0	
売 上 総 利 益	△ 3,050	△ 1.6	902	0.5	3,952	-	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	48,350	26.1	46,891	27.5	△ 1,458	△ 3.0	
営 業 利 益	△ 51,400	△ 27.7	△ 45,989	△ 27.0	5,410	-	B
（ テーマパーク事業	△ 43,110	△ 23.2	△ 41,982	△ 24.6	1,127	-	④
ホ テ ル 事 業	△ 5,970	△ 3.2	△ 1,954	△ 1.1	4,015	-	⑤
そ の 他 の 事 業	△ 2,580	△ 1.4	△ 2,312	△ 1.4	267	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	260	0.1	260	0.1	0	0.0	
営 業 外 収 益	1,970	1.0	1,833	1.2	△ 136	△ 6.9	
営 業 外 費 用	4,460	2.4	5,049	3.0	589	13.2	
経 常 利 益	△ 53,890	△ 29.1	△ 49,205	△ 28.8	4,684	-	
特 別 損 失							
臨 時 休 園 に よ る 損 失	13,333	7.2	12,965	7.6	△ 367	△ 2.8	
減 損 損 失	-	-	5,633	3.3	5,633	-	
特 別 損 失 合 計	13,333	7.2	18,598	10.9	5,265	39.5	⑦
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	△ 67,230	△ 36.3	△ 67,804	△ 39.7	△ 574	-	
法 人 税 等	△ 16,120	△ 8.7	△ 13,613	△ 7.9	2,506	-	
当 期 純 利 益	△ 51,110	△ 27.6	△ 54,190	△ 31.8	△ 3,080	-	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	△ 51,110	△ 27.6	△ 54,190	△ 31.8	△ 3,080	-	C

※2021年3月期予想は一千万円単位での開示となりますが、特別損失には上半期の実績を記載しています。

【A. 売上高 148億円の減 (8.0%減)】

(単位：百万円)

項目	10月発表予想	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
① テーマパーク事業	152,440	134,293	△ 18,146	△ 11.9%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	77,800	66,938	△ 10,861	△ 14.0%	
商品販売収入	44,700	41,579	△ 3,120	△ 7.0%	
飲食販売収入	27,060	22,642	△ 4,417	△ 16.3%	
その他の収入	2,880	3,133	253	8.8%	
② ホテル事業	25,130	28,627	3,497	13.9%	・宿泊収入の増
ディズニーホテル ※1	22,320	25,571	3,251	14.6%	
その他ホテル	2,810	3,056	246	8.8%	
③ その他の事業	7,890	7,660	△ 229	△ 2.9%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	4,360	4,272	△ 87	△ 2.0%	
モノレール事業	1,260	1,019	△ 240	△ 19.1%	
その他	2,270	2,368	98	4.3%	

※1 ディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【テーマパーク関連情報】

項目	10月発表予想	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
入園者数 (千人)	9,500	7,560	△ 1,940	△ 20.4%	・入園者数の制限による減
ゲスト1人当たり売上高 (円)	12,710	13,642	932	7.3%	
チケット収入	6,250	6,538	288	4.6%	・チケット構成比の変化による増
商品販売収入	3,620	4,122	502	13.9%	・レギュラー商品の増
飲食販売収入	2,840	2,982	142	5.0%	・新規エリア関連商品の増

【B. 営業利益 54億円の増】

(単位：百万円)

項目	10月発表予想	当期実績	増減	増減率	主な増減要因
④ テーマパーク事業	△ 43,110	△ 41,982	1,127	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・商品・飲食原価率の減 (約5億円) ※2 ※3 ・人件費の減 (約70億円) <ul style="list-style-type: none"> - 雇用調整助成金の受給による減 (32億円) ※3 - 正社員人件費の減 (約20億円) - 正社員人件費の減 (約15億円) など ・諸経費の減 (約55億円) <ul style="list-style-type: none"> - メンテナンス費の減 (約30億円) - エネルギー費の減 (約5億円) - その他 (約20億円) ・減価償却費の減 (3億円)
⑤ ホテル事業	△ 5,970	△ 1,954	4,015	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・人件費の減 (10億円) ※3 - 雇用調整助成金の受給による減など ・諸経費の減 - メンテナンス費の減など
⑥ その他の事業	△ 2,580	△ 2,312	267	-	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・諸経費の減など

※2 第1四半期 (4~6月) の商品・飲食原価率の増影響は臨時休園をしていたことにより算出不可であることから、P.10の第1四半期営業利益の主な増減要因には記載しておりません。

※3 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額 (見込み受給金額を含む) を営業費用から控除しています。

【C. 親会社株主に帰属する当期純利益 30億円の減】

特別損失の増		
・ホテル事業のブライTONホテル事業における減損損失	56億円	
・その他	△3億円	

投資額・償却費

1. 投資額（有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用）

2021年3月期実績／2020年3月期実績

（単位：億円）

項 目	20/3実績	21/3実績	増 減	主 な 増 減 要 因
テーマパーク事業	1,299	777	△ 521	
東京ディズニーランド	567	116	△ 450	東京ディズニーランド大規模開発、立体駐車場の減
東京ディズニーシー	392	449	56	東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトによる増
その他	339	211	△ 127	東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトの減
ホテル事業	51	267	215	東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテル、東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトによる増
その他の事業	46	38	△ 7	
（消去又は全社）	△ 0	-	0	
合計	1,396	1,083	△ 313	

2. 償却費（有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用）

2021年3月期実績／2020年3月期実績

（単位：億円）

項 目	20/3実績	21/3実績	増 減	主 な 増 減 要 因
テーマパーク事業	305	308	3	
東京ディズニーランド	98	140	41	東京ディズニーランド大規模開発による増 特別損失、営業外費用への振替
東京ディズニーシー	130	98	△ 32	特別損失、営業外費用への振替
その他	75	70	△ 5	
ホテル事業	38	30	△ 8	
その他の事業	23	27	3	
（消去又は全社）	△ 0	△ 0	△ 0	
合計	367	366	△ 0	

※償却費には営業外費用、特別損失への振替額は含まれておりません。

2022年3月期 連結業績の見通し

現在、千葉県浦安市に「まん延防止重点措置」が適用され、先々の外部環境も不透明であることを踏まえ、現時点では合理的な業績予想の策定が困難であるため、状況が変わり次第策定の上開示を行います。設備投資額は1,300億円レベル、減価償却費は450億円レベルとなる見込みです。

※2022年3月期より、主に東京ディズニーランドの有形固定資産の償却方法を、定率法から定額法に変更いたします。

2022年3月期テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダーに関する補足

2022年3月期のイベントについては、現在未定となっております。
決定次第都度リリースいたします。

(参考) 四半期連結損益計算書

4. 四半期連結損益計算書（第1四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第1四半期実績 (4～6月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	120,552	100.0	6,164	100.0	△ 114,387	△ 94.9	A
（ テーマパーク事業	100,179	83.1	5,123	83.1	△ 95,055	△ 94.9	①
ホ テ ル 事 業	16,420	13.6	147	2.4	△ 16,273	△ 99.1	②
そ の 他 の 事 業	3,952	3.3	893	14.5	△ 3,059	△ 77.4	③
売 上 原 価	72,269	59.9	12,963	210.3	△ 59,306	△ 82.1	
人 件 費	18,975		4,176		△ 14,799		
諸 経 費	45,656		8,184		△ 37,472		
減 価 償 却 費	7,637		602		△ 7,034		
売 上 総 利 益	48,282	40.1	△ 6,798	△ 110.3	△ 55,081	-	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	16,345	13.6	8,843	143.4	△ 7,502	△ 45.9	
人 件 費	6,299		3,883		△ 2,416		
諸 経 費	8,733		4,380		△ 4,352		
減 価 償 却 費	1,312		579		△ 733		
営 業 利 益	31,936	26.5	△ 15,641	△ 253.7	△ 47,578	-	B
（ テーマパーク事業	27,182	22.6	△ 11,439	△ 185.6	△ 38,622	-	④
ホ テ ル 事 業	3,784	3.1	△ 3,198	△ 51.9	△ 6,982	-	⑤
そ の 他 の 事 業	911	0.8	△ 1,035	△ 16.8	△ 1,947	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	57	0.0	31	0.6	△ 25	△ 44.9	
営 業 外 収 益	1,086	0.9	753	12.2	△ 332	△ 30.6	
営 業 外 費 用	260	0.2	395	6.4	134	51.8	
経 常 利 益	32,762	27.2	△ 15,283	△ 247.9	△ 48,045	-	
特 別 損 失	-	-	21,198	343.9	21,198	-	⑦
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	32,762	27.2	△ 36,481	△ 591.8	△ 69,244	-	
法 人 税 等	9,838	8.2	△ 11,610	△ 188.3	△ 21,449	-	
四 半 期 純 利 益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,923	19.0	△ 24,871	△ 403.5	△ 47,794	-	C

【A. 売上高 1,143億円の減 (94.9%減)】

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減率	主な増減要因
① テーマパーク事業	100,179	5,123	△ 95,055	△ 94.9%	・ テーマパークの臨時休園による減
アトラクション・ショー収入	46,848	3,844	△ 43,004	△ 91.8%	
商品販売収入	33,478	959	△ 32,519	△ 97.1%	
飲食販売収入	18,475	1	△ 18,474	△ 100.0%	
その他の収入	1,375	319	△ 1,056	△ 76.8%	
② ホテル事業	16,420	147	△ 16,273	△ 99.1%	・ ホテルの臨時休館による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	14,353	26	△ 14,326	△ 99.8%	
その他ホテル	2,067	120	△ 1,946	△ 94.2%	
③ その他の事業	3,952	893	△ 3,059	△ 77.4%	・ イクスピアリの臨時休業によるイクスピアリ事業の減 ・ テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,661	419	△ 1,242	△ 74.8%	
モノレール事業	1,177	32	△ 1,144	△ 97.3%	
その他	1,113	441	△ 671	△ 60.3%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンパサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【テーマパーク関連情報】

当四半期期間中は、東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシーが臨時休園としていたことにより、入園者数およびゲスト1人当たり売上高の実績はありません。

【B. 営業利益 475億円の減】

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減率	主な増減要因
④ テーマパーク事業	27,182	△ 11,439	△ 38,622	-	・ 売上高の減 ・ 人件費の減 (145億円) — 特別損失への振替、準社員人件費の減など ・ 諸経費の減 (69億円) — 特別損失への振替、販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・ 減価償却費の減 (68億円) — 特別損失への振替など
⑤ ホテル事業	3,784	△ 3,198	△ 6,982	-	・ 売上高の減 ・ 人件費の減 (23億円) — 特別損失への振替、労働時間の減による減など ・ 諸経費の減 (9億円) — 修繕費の減、特別損失への振替など ・ 減価償却費の減 (7億円) — 特別損失への振替など
⑥ その他の事業	911	△ 1,035	△ 1,947	-	・ 売上高の減など

【C. 親会社株主に帰属する四半期純利益 477億円の減】

⑦ 特別損失の増

(単位：百万円)

項目	前年同期	第1四半期	増減	増減率	主な増減要因
テーマパーク事業	-	19,715	19,715	-	・ 人件費の振替 (77億円) ※2 — 休園期間中の一部の人件費 ・ 諸経費の振替 (32億円) — 休園期間中の業務委託費、休園期間中の固定資産税など ・ 減価償却費の振替 (72億円) — 休園期間中の減価償却費 ・ 飲食売上原価の人件費 ※2、商品・原材料の廃棄など (14億円)
ホテル事業	-	1,262	1,262	-	・ 人件費の振替 (1億円) ※2 — 休館期間中の一部の人件費 ・ 諸経費の振替 (3億円) — 休館期間中の固定資産税など ・ 減価償却費の振替 (7億円) — 休館期間中の減価償却費
その他の事業	-	219	219	-	・ 減価償却費の振替 (1億円) — イクスピアリ事業の休業期間中の減価償却費など

※2 各事業における人件費の特別損失への振替額は、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金として、受給が確実と見込まれる金額を合理的に算出し控除したものです。

5. 四半期連結損益計算書（第2四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第2四半期実績 (7～9月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	127,876	100.0	52,984	100.0	△ 74,891	△ 58.6	A
（ テーマパーク事業	105,215	82.3	42,725	80.6	△ 62,490	△ 59.4	①
ホ テ ル 事 業	18,304	14.3	8,026	15.2	△ 10,277	△ 56.1	②
そ の 他 の 事 業	4,356	3.4	2,232	4.2	△ 2,123	△ 48.8	③
売 上 原 価	81,018	63.4	49,641	93.7	△ 31,377	△ 38.7	
人 件 費	20,900		13,698		△ 7,202		
諸 経 費	51,764		26,875		△ 24,888		
減 価 償 却 費	8,352		9,067		714		
売 上 総 利 益	46,858	36.6	3,343	6.3	△ 43,514	△ 92.9	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,855	13.9	11,880	22.4	△ 5,975	△ 33.5	
人 件 費	7,207		4,228		△ 2,979		
諸 経 費	9,325		6,271		△ 3,054		
減 価 償 却 費	1,321		1,379		57		
営 業 利 益	29,002	22.7	△ 8,536	△ 16.1	△ 37,539	-	B
（ テーマパーク事業	22,747	17.8	△ 7,882	△ 14.9	△ 30,629	-	④
ホ テ ル 事 業	5,293	4.1	△ 470	△ 0.9	△ 5,763	-	⑤
そ の 他 の 事 業	896	0.7	△ 269	△ 0.5	△ 1,165	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	66	0.1	85	0.2	19	29.1	
営 業 外 収 益	537	0.4	411	0.7	△ 126	△ 23.6	
営 業 外 費 用	224	0.2	1,336	2.5	1,111	494.4	
経 常 利 益	29,315	22.9	△ 9,461	△ 17.9	△ 38,777	-	
特 別 損 失	-	-	△ 7,865	△ 14.9	△ 7,865	-	⑦
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	29,315	22.9	△ 1,596	△ 3.0	△ 30,912	-	
法 人 税 等	9,154	7.1	3,627	6.9	△ 5,526	△ 60.4	
四 半 期 純 利 益	20,160	15.8	△ 5,224	△ 9.9	△ 25,385	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,160	15.8	△ 5,224	△ 9.9	△ 25,385	-	C

【A. 売上高 748億円の減 (58.6%減)】

(単位: 百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減率	主な増減要因
① テーマパーク事業	105,215	42,725	△ 62,490	△ 59.4%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	49,258	21,520	△ 27,737	△ 56.3%	
商品販売収入	34,228	13,364	△ 20,864	△ 61.0%	
飲食販売収入	19,860	7,364	△ 12,495	△ 62.9%	
その他の収入	1,868	474	△ 1,393	△ 74.6%	
② ホテル事業	18,304	8,026	△ 10,277	△ 56.1%	・ホテル客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	16,442	7,254	△ 9,187	△ 55.9%	
その他ホテル	1,861	771	△ 1,089	△ 58.5%	
③ その他の事業	4,356	2,232	△ 2,123	△ 48.8%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,805	1,320	△ 485	△ 26.9%	
モノレール事業	1,364	335	△ 1,028	△ 75.4%	
その他	1,186	577	△ 609	△ 51.4%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【B. 営業利益 375億円の減】

(単位: 百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減率	主な増減要因
④ テーマパーク事業	22,747	△ 7,882	△ 30,629	-	・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△25億円) ※2 ・人件費の減 (83億円) ※2 一雇用調整助成金の受給による減、正社員人件費の減など ・諸経費の減 (50億円) 一販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・減価償却費の増 (△6億円)
⑤ ホテル事業	5,293	△ 470	△ 5,763	-	・売上高の減 ・人件費の減 (15億円) ※2 一賞与の減など
⑥ その他の事業	896	△ 269	△ 1,165	-	・売上高の減など

※2 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額を営業費用から控除しています。

【C. 親会社株主に帰属する四半期純利益 253億円の減】

(単位: 百万円)

項目	前年同期	第2四半期	増減	増減率	主な増減要因
⑦ 特別損失の減					
テーマパーク事業	-	△ 7,546	△ 7,546	-	・特別損失の減 (△75億円) 一雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 一社員冬季賞与の減額による減
ホテル事業	-	△ 309	△ 309	-	・特別損失の減 (△3億円) 一雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 一社員冬季賞与の減額による減
その他の事業	-	△ 9	△ 9	-	・特別損失の減 (△0億円) 一雇用調整助成金の受給額確定による減 ※3 一社員冬季賞与の減額による減

※3 各事業における特別損失の計上額は、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金として、確定した受給額が第1四半期決算時点で見込んでいた金額を上回ったため、第2四半期(7~9月)にその差分を特別損失から控除しています。

6. 四半期連結損益計算書（第3四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第3四半期実績 (10～12月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	141,776	100.0	77,964	100.0	△ 63,811	△ 45.0	A
（ テーマパーク事業	118,727	83.7	61,310	78.7	△ 57,417	△ 48.4	①
ホテル事業	18,795	13.3	13,984	17.9	△ 4,811	△ 25.6	②
その他の事業	4,253	3.0	2,669	3.4	△ 1,583	△ 37.2	③
売 上 原 価	84,599	59.7	59,382	76.2	△ 25,216	△ 29.8	
人件費	20,812		16,445		△ 4,367		
諸経費	54,799		31,734		△ 23,065		
減価償却費	8,986		11,202		2,216		
売 上 総 利 益	57,177	40.3	18,582	23.8	△ 38,595	△ 67.5	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,078	12.0	14,243	18.2	△ 2,834	△ 16.6	
人件費	6,734		5,788		△ 946		
諸経費	9,010		7,062		△ 1,947		
減価償却費	1,333		1,392		59		
営 業 利 益	40,098	28.3	4,338	5.6	△ 35,760	△ 89.2	B
（ テーマパーク事業	33,572	23.7	937	1.2	△ 32,635	△ 97.2	④
ホテル事業	5,566	3.9	3,290	4.2	△ 2,275	△ 40.9	⑤
その他の事業	920	0.7	81	0.1	△ 839	△ 91.2	⑥
（消去又は全社）	38	0.0	29	0.1	△ 9	△ 23.6	
営 業 外 収 益	578	0.4	481	0.6	△ 97	△ 16.8	
営 業 外 費 用	396	0.3	1,925	2.5	1,528	385.3	
経 常 利 益	40,280	28.4	2,894	3.7	△ 37,386	△ 92.8	
特 別 損 失	-	-	0	0.0	0	-	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	40,280	28.4	2,893	3.7	△ 37,386	△ 92.8	
法 人 税 等	12,371	8.7	1,526	1.9	△ 10,845	△ 87.7	
四 半 期 純 利 益	27,908	19.7	1,367	1.8	△ 26,541	△ 95.1	
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,908	19.7	1,367	1.8	△ 26,541	△ 95.1	

【A. 売上高 638億円の減 (45.0%減)】

(単位：百万円)

項 目	前 年 同 期	第 3 四 半 期	増 減	増 減 率	主 な 増 減 要 因
① テーマパーク事業	118,727	61,310	△ 57,417	△ 48.4%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	55,363	29,086	△ 26,276	△ 47.5%	
商品販売収入	39,721	19,487	△ 20,233	△ 50.9%	
飲食販売収入	21,733	11,486	△ 10,247	△ 47.1%	
その他の収入	1,908	1,250	△ 658	△ 34.5%	
② ホテル事業	18,795	13,984	△ 4,811	△ 25.6%	・ホテル客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	16,502	12,520	△ 3,982	△ 24.1%	
その他ホテル	2,292	1,464	△ 828	△ 36.1%	
③ その他の事業	4,253	2,669	△ 1,583	△ 37.2%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,702	1,434	△ 268	△ 15.8%	
モノレール事業	1,399	495	△ 904	△ 64.6%	
その他	1,150	740	△ 410	△ 35.7%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【B. 営業利益 357億円の減 (89.2%減)】

(単位：百万円)

項 目	前 年 同 期	第 3 四 半 期	増 減	増 減 率	主 な 増 減 要 因
④ テーマパーク事業	33,572	937	△ 32,635	△ 97.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△23億円) ※2 ・人件費の減 (44億円) ※2 一 準社員人件費の減、正社員人件費の減など ・諸経費の減 (57億円) 一 スペシャルイベント関連費用の減、メンテナンス費の減、販売促進費の減など ・減価償却費の増 (△21億円)
⑤ ホテル事業	5,566	3,290	△ 2,275	△ 40.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減 ・人件費の減 (7億円) ※2 一 賞与の減など
⑥ その他の事業	920	81	△ 839	△ 91.2%	・売上高の減など

※2 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額を営業費用から控除しています。

7. 四半期連結損益計算書（第4四半期実績／前年同期）

科 目	前 年 同 期	百 分 比	第4四半期実績 (1～3月)	百 分 比	増 減 (△印減)	増 減 率	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
売 上 高	74,245	100.0	33,467	100.0	△ 40,777	△ 54.9	A
（ テーマパーク事業	59,908	80.7	25,134	75.1	△ 34,774	△ 58.0	①
ホ テ ル 事 業	10,855	14.6	6,469	19.3	△ 4,385	△ 40.4	②
そ の 他 の 事 業	3,481	4.7	1,864	5.6	△ 1,617	△ 46.5	③
売 上 原 価	62,714	84.5	47,691	142.5	△ 15,022	△ 24.0	
人 件 費	14,373		11,319		△ 3,053		
諸 経 費	41,956		25,318		△ 16,638		
減 価 却 費	6,384		11,053		4,669		
売 上 総 利 益	11,531	15.5	△ 14,223	△ 42.5	△ 25,755	-	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15,706	21.1	11,925	35.6	△ 3,781	△ 24.1	
人 件 費	4,998		4,820		△ 177		
諸 経 費	9,276		5,694		△ 3,582		
減 価 却 費	1,431		1,409		△ 21		
営 業 利 益	△ 4,175	△ 5.6	△ 26,148	△ 78.1	△ 21,973	-	B
（ テーマパーク事業	△ 3,842	△ 5.2	△ 23,598	△ 70.5	△ 19,755	-	④
ホ テ ル 事 業	124	0.2	△ 1,575	△ 4.7	△ 1,700	-	⑤
そ の 他 の 事 業	△ 566	△ 0.8	△ 1,088	△ 3.2	△ 521	-	⑥
（ 消 去 又 は 全 社 ）	108	0.2	113	0.3	4	4.1	
営 業 外 収 益	380	0.5	186	0.6	△ 193	△ 50.9	
営 業 外 費 用	500	0.7	1,392	4.2	891	178.1	
経 常 利 益	△ 4,295	△ 5.8	△ 27,354	△ 81.7	△ 23,059	-	
特 別 利 益	341	0.5	-	-	△ 341	-	
特 別 損 失	9,270	12.5	5,265	15.8	△ 4,005	△ 43.2	⑦
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	△ 13,224	△ 17.8	△ 32,619	△ 97.5	△ 19,395	-	
法 人 税 等	△ 4,449	△ 6.0	△ 7,157	△ 21.4	△ 2,708	-	
四 半 期 純 利 益	△ 8,775	△ 11.8	△ 25,462	△ 76.1	△ 16,687	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 8,775	△ 11.8	△ 25,462	△ 76.1	△ 16,687	-	C

【A. 売上高 407億円の減 (54.9%減)】

(単位: 百万円)

項目	前年同期	第4四半期	増減	増減率	主な増減要因
① テーマパーク事業	59,908	25,134	△ 34,774	△ 58.0%	・入園者数の制限による減
アトラクション・ショー収入	28,494	12,486	△ 16,008	△ 56.2%	
商品販売収入	19,393	7,767	△ 11,625	△ 59.9%	
飲食販売収入	10,745	3,790	△ 6,955	△ 64.7%	
その他の収入	1,274	1,089	△ 184	△ 14.5%	
② ホテル事業	10,855	6,469	△ 4,385	△ 40.4%	・客室販売数の制限による宿泊収入の減
ディズニーホテル ※1	9,500	5,769	△ 3,730	△ 39.3%	
その他ホテル	1,354	699	△ 655	△ 48.4%	
③ その他の事業	3,481	1,864	△ 1,617	△ 46.5%	・テーマパーク入園者数の制限によるモノレール事業の減
イクスピアリ事業	1,005	1,098	93	9.3%	
モノレール事業	826	156	△ 670	△ 81.1%	
その他	1,649	609	△ 1,040	△ 63.1%	

※1 ディズニーホテルにはディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーセレブレーションホテルを含みます。

【B. 営業利益 219億円の減】

(単位: 百万円)

項目	前年同期	第4四半期	増減	増減率	主な増減要因
④ テーマパーク事業	△ 3,842	△ 23,598	△ 19,755	-	・売上高の減 ・商品・飲食原価率の増 (△80億円) ※2 ・人件費の減 (29億円) ※2 ・雇用調整助成金の受給による減など ・諸経費の減 (75億円) ・メンテナンス費の減、販売促進費の減、スペシャルイベント関連費用の減など ・減価償却費の増 (△44億円)
⑤ ホテル事業	124	△ 1,575	△ 1,700	-	・売上高の減 ・諸経費の減
⑥ その他の事業	△ 566	△ 1,088	△ 521	-	・売上高の減など

※2 新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴う雇用調整助成金のうち、臨時休園起因を除いた受給金額 (見込み受給金額を含む) を営業費用から控除しています。

【C. 親会社株主に帰属する当期純利益 166億円の減】

⑦ 特別損失の減

・ホテル事業のブライトンホテル事業における減損損失	56億円
・前期の臨時休園による損失	△92億円
・その他	△3億円



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

047-305-2034 www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。

本資料の転載はご遠慮ください。